

第4章 計画の推進体制

1 推進体制

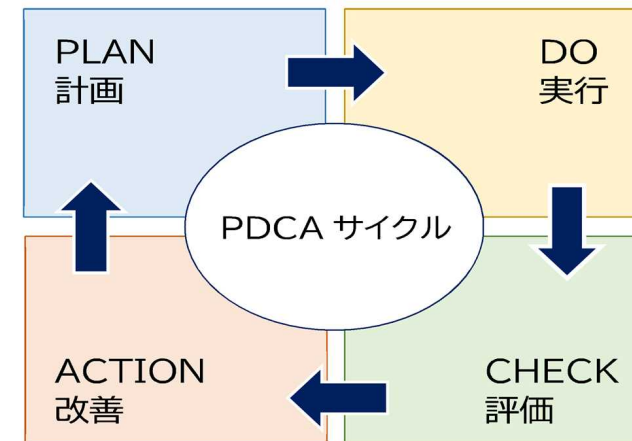
本計画の推進に当たっては、国・東京都と連携を図るとともに、広く関係者や市民等の協力を得て、それぞれの役割分担のもとで一体となって対応することが重要です。

庁内では、関係部署で構成する庁内連絡会を中心に、組織横断的に対策を推進します。

更に、学識経験者や保健医療関係者、民間支援団体関係者等で構成される青梅市健康づくり推進会議を核として関係機関等の連携を強化し、計画の総合的、効果的な推進に努めます。

2 進捗状況の把握

計画期間中は、事業・取組についてPDCAサイクルによる適切な進行管理を行います。進行管理は、青梅市健康づくり推進庁内連絡会議および青梅市健康づくり推進会議において、定期的に施策の進捗状況の把握・点検し、その状況に応じて事業・取組を改善していきます。



1 青梅市健康づくり推進庁内連絡会議

委員長を務める健康課長ほか、庁内で健康づくりの推進に関連の深い部署の課長で構成しています。

本市の自殺対策を推進するため、庁内の横断的体制を整えることで、各部署同士の情報共有や施策の連携を図ります。

【令和6年度 会議構成員】

役 職	氏 名	所属部課
委 員 長	小林 靖幸	健康福祉部健康課長
副委員長	中村 恵美	こども家庭部こども家庭センター所長
委 員	野村 正明	企画部企画政策課長
//	山口 剛	市民部保険年金課長
//	大越 理良	健康福祉部高齢者支援課長
//	斎藤 剛	健康福祉部障がい者福祉課長
//	加藤 博之	こども家庭部こども育成課長
//	並木 徹二	地域経済部農林水産課長
//	拝原 茂行	学校教育部指導室長
//	榎戸 智	学校教育部学校給食センター所長
//	中村 栄之	生涯学習部スポーツ推進課長

2 青梅市健康づくり推進会議

医療保健、農業、企業、教育の関係者および市民団体の代表者ならびに青梅市民を構成員として、相互の密接な連携を確保し、本市における自殺対策を総合的かつ効率的に推進します。

【令和6年度 会議構成員】

選出区分	役 職	氏 名	委 員
学識経験者	会 長	大木 幸子	杏林大学保健学部看護学科地域看護学研究室 教授
医療保健関係者の代表	副会長	神應 知道	一般社団法人青梅市医師会 副会長
医療保健関係者の代表	副会長	高野 真	青梅市歯科医師会 副会長
医療保健関係者の代表	委員	鈴木 真吾	一般社団法人青梅市薬剤師会 理事
医療保健関係者の代表	//	清水 省吾	東京都西多摩保健所生活安全課長
農業関係者の代表	//	森田 泰夫	青梅市農業委員会 経営部会長
企業関係者の代表	//	下野 一郎	株式会社梅文社 代表取締役
企業関係者の代表	//	福島 美樹	東京都生活協同組合連合会コープみらい 東京8ブロック委員
教育関係者の代表	//	梅田 尚之	青梅市立西中学校 校長
教育関係者の代表	//	鈴木 慶子	三田保育園 園長
市民団体の代表	//	小花 紀彦	青梅市自治会連合会 副会長
市民団体の代表	//	野村 欣史	青梅市スポーツ推進委員協議会 副会長
公募の市民	//	高橋 悦子	
公募の市民	//	原崎 彩香	